

## 第 11 回海部会 WG の進め方

### 1. 第 11 回海部会 WG の目的

- 天然干潟と人工干潟の両方で見学、生物調査を実施し、望ましい干潟の姿について、皆で議論し、共有する
  - 生物、水質、景観などの様々な視点から両方の干潟を見学し、理解を深める。生物については調査を実施する。
  - 各人の感想を話し合い、望ましい海、干潟の姿について共有する
  - 次年度以降のことを見据え、海部会のスタンスを皆で確認するような活動とする

### 2. 本日のスケジュール

#### **第 1 部：現地調査 干潟生物調査 場所：東幡豆トンボロ干潟、西浦人工干潟**

- 10:10 東幡豆トンボロ干潟着  
座長挨拶
- 10:15 トンボロ干潟調査（45）
- 11:00 調査終了  
（バス移動）
- 11:10 人工干潟 調査（45）
- 11:55 調査終了  
（バス移動）

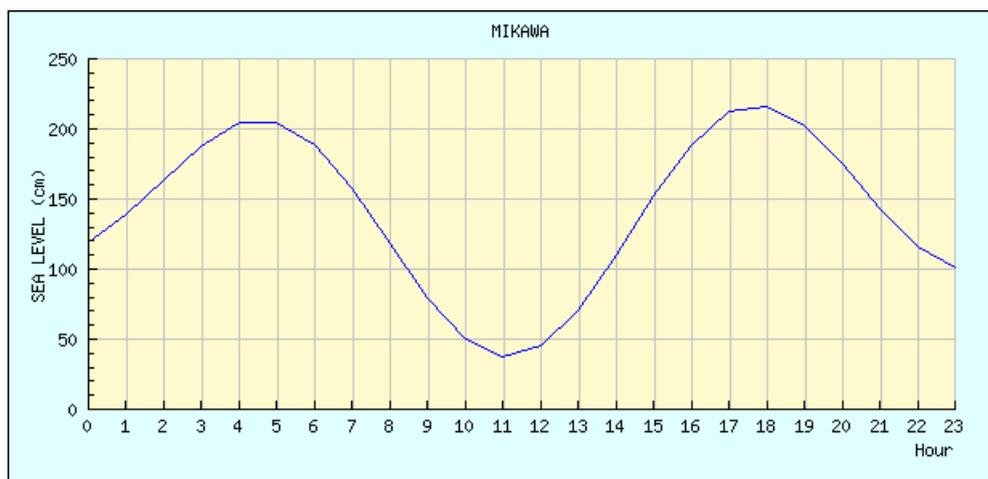
#### **昼食**

- 12:10 昼食、休憩

#### **第 2 部：話し合い 場所：西尾市役所 幡豆支所集合**

- 13:20 干潟見学、調査についてのふりかえり
- 14:30 閉会

### 3. 潮位グラフ（8月5日、三河地点）



### 4. 準備物

NO	準備物	備考
1	筆記用具	
2	サンダル以外の履物	怪我防止
3	帽子	その他熱中症対策
4	軍手	
5	スコップ	
6	雨具	
7	デジタルカメラ	なるべくご用意下さい
8	弁当	
9	飲み物	

## 5. ルート



■ 東幡豆町トンボロ干潟



■ 西浦人工干潟



## 6. 調査方法

### ●準備するもの

25cm×25cm の枠、スコップ、フルイ (5 mm)、バット

#### ① 移動 (10分)

バスから干潟調査場所まで徒歩で移動します。



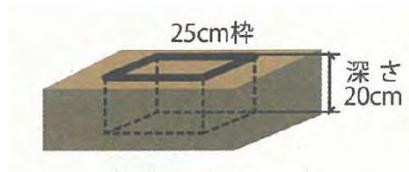
#### ② 調査方法説明 (5分)

担当者から調査方法の説明があります。



#### ③ 泥の採取 (5分)

各自、25cm の枠内で深さ 20cm の泥を採取します。



#### ④ 泥をふるう (5分)

泥をフルイに入れ、水に浸けてふるいます。



#### ⑤ 生物の確認 (10分)

フルイに残った生物をバットに入れ、名前を確認し (次ページ参照)、調査票に記入します。

ここで、担当者からの生物についての説明もあります。



#### ⑥ 移動 (10分)

干潟調査場所からバスまで徒歩で戻ります。

\*\*\*\*

出典：環境・生態系保全活動ハンドブック (全国漁業協同組合連合会)

生き物がいっぱい

干潟ってどんなところ

魚をまわっている

海藻 (アサヒは海草)

アサヒ (干潟の巨匠 香だけじゃなく)



ミソ (磯草で 海苔、 食べたり する?)



オゴノリ (ゆでた後 湯のつぎ)



サガラメ (出汁で海草餅)



アカモク (ホンダ ワラの仲間、美肌)



アマモ (島の仲間、花が咲いて 貝殻にして食がなる!)



干潟の境、干潟の所 (干潟)

アサヒの生える所 (海苔が生える)

あまの生える所 (磯草が生える)

アサヒの生える所 (干潟の境に生える)

あまの生える所 (干潟の境に生える)

アマモの生える所 (島の仲間)

一帯干潟 (三浦湾で一番大きな干潟)

あまの生える所 (干潟の境に生える)

あまの生える所 (干潟の境に生える)

あまの生える所 (干潟の境に生える)

魚たち

チヌ (黒い魚?)



アサヒアサヒ



(穴の中が好き)



ヒメハゼ



(どちらもハゼだけじゃなく)



キンポ (葉の中にいるよ)

他に生かっている

コブの生える所 (干潟の境に生える)

アマモの生える所 (島の仲間)

エビ、カニの仲間



クルマエビ (干潟で育つ)



ガサミ (例：エビ、蟹、海苔)



セシガニ (川に上って、海に下って)



イシガニ (は古まられたらいいん)

全長10cm

全長10cm

全長10cm

全長10cm

二枚貝

いるから かわい

ママコブシガニ アミメキンセンガンニ



コムツキガニ (小さい貝の子が、いっぱい)



イシガニ

巻貝

ウミニナ (干潟で採るよ)



ツメタガイ (貝を食べる貝)



死んだ貝の横断



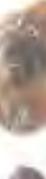
アカムシロガイ (海の横断線)



イボキサゴ (ナガ ラミの仲間)



ツメタガイ (貝を食べる貝)



食べられたアクリリと和 (おじゃわん)

■調査票

干潟調査 調査票

日 時： \_\_\_\_\_ 天 気： \_\_\_\_\_

調査地名： \_\_\_\_\_

調査員名： \_\_\_\_\_

調査地点： \_\_\_\_\_

見つけたもの

NO	生物名	数	備考

気づいたこと

生物について

水質について

景観について

その他

## ■ふりかえり

### (1) 干潟調査について

- 干潟調査の感想（どんなことでも）を話し合きましょう。
- 天然干潟と人工干潟の生物環境の違いについて話し合きましょう。

### (2) 天然干潟と人工干潟の違いについて

- 生物以外にも、水質、景観など、さまざまな視点から、天然干潟と人工干潟の違いについて話し合きましょう。

### (3) 望ましい海（干潟）について

- 海部会で目指す、望ましい海、干潟の姿について話し合きましょう。

■参考：東幡豆町トンボロ干潟

西尾市の東幡豆町には、珍しいトンボロ現象が見られる、トンボロ干潟があります。干潮時には、トンボロ干潟の先端にある無人島の前島（まえじま）へ歩いて渡ることができず！潮の満ち引きで現れるため、タイミングによっては見ることができない可能性があり棲む生物がバラエティ豊かに織りなすトンボロ干潟をぜひ体験してください！



### 東幡豆町東幡豆海岸 交通案内

**鉄道をご利用の場合**

<名古屋方面から>

名古屋鉄道西尾線／蒲郡線経由で「東幡豆」駅で下車。（約1時間30分）

<豊橋方面から>

「豊橋」駅からJR東海道本線で「蒲郡」駅まで。名古屋鉄道蒲郡線に乗り換え、「東幡豆」駅で下車。（約45分）

**車をご利用の場合**

<東京方面から>

東名高速道路「音羽蒲郡IC」からオレンジロード、国道23号線、国道247号線を通して東幡豆町へ。（約40分）

<大阪方面から>

東名高速道路「岡崎IC」から国道248号線で蒲郡まで行き、そこからは国道247号線で東幡豆町へ。（約50分）

- 住所：愛知県西尾市東幡豆町小見行田20-3
- お問い合わせ／東幡豆漁業協同組合 0563-62-2068

特集 NEW

- 西尾の抹茶
- 吉良土野介を巡る旅
- 潮干狩りを楽しもう！
- 三ヶ根山のおじさい特集
- 西尾祇園祭
- 一色大提灯まつり
- 佐久島体験
- 西尾の秋まつり
- 吉良歴史さんぽ
- イルミネーション&初川の出
- 冬の西尾グルメ
- 冬の幡豆めぐり
- お花見情報 in 愛知こどもの国
- まーちゃと行く！西尾de体験ツアー
- 西尾市の花「バラ」特集
- 西尾市東幡豆町のトンボロ干潟



東幡豆海岸・前島トンボロ現象 (Time:0:44)

**トンボロ現象とは**

普段は海によって隔てられている陸地と島が、干潮時に干上がった海底で繋がる現象のことを言います。また、トンボロ現象によってできた干潟をトンボロ干潟と言います。

出典：西尾市観光協会 [http://www.240kanko.com/?page\\_id=4382](http://www.240kanko.com/?page_id=4382)

## ■参考：西浦人工干潟

シーブルー事業：

このプロジェクトは、中山水道航路の浚渫で発生する良質な砂を利用した覆砂（良質な砂を海に撒き、砂でヘドロの表面を覆うこと）を中心とした事業です。

覆砂によって汚染物質の海中への溶出を抑制し、水質の改善を図ることができます。また、海辺に良質な砂を使い、干潟を形成したり、海底を浅くして海草などによる自然浄化作用を高める工夫も進めています。



## ■シーブルー事業実施地区



## ■三河湾西浦地区における干潟の再生

出典：国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所

[http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/gaiyou/jigyuu\\_seablue.html](http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/gaiyou/jigyuu_seablue.html)